

第2回 奈良市音声館他3施設に係る奈良市指定管理者選定委員会会議録	
開催日時	令和3年1月29日(金) 午後2時から午後3時30分まで
開催場所	奈良市役所 中央棟3階 第1作業室
出席者	委員 萩原委員長、青木委員、佐野委員、中川委員、福山委員
	事務局 池田文化振興課長、川井課長補佐、小谷総務係長、大西
開催形態	公開
議題	1 書類審査(奈良市音声館・なら100年会館・奈良市ならまちセンター・奈良市美術館) 2 候補者選定
決定事項	一般財団法人奈良市総合財団を、奈良市音声館・なら100年会館・奈良市ならまちセンター・奈良市美術館の指定管理者の候補者として選定した。
添付資料	・採点集計表
議事の内容	
<b>1. 書類審査</b>	
奈良市音声館・なら100年会館・奈良市ならまちセンター・奈良市美術館について書類審査を行った。	
<b>【奈良市音声館】</b>	
(委員)	日本の伝統文化を学ぼうという取り組みは、施設職員が講師となるのか。
(事務局)	外部の講師を呼んでいる。
(委員)	講師料はどこに計上されるのか。
(事務局)	指定管理事業外で行う自主事業であるため、申請書には表れない。
(委員)	自主事業の予算書は出てこないのか。
(事務局)	年次協定書の締結前に予算含む事業計画書を提出させ、市で承認したものを実施、年度の最後に報告することになっている。 また、自主事業は団体の自主財源のなかで実施するものだが、指定管理料の中で提案事業という形で実施する事業がエントランスギャラリー(制作教室)である。
<b>【なら100年会館】</b>	
(委員)	消防訓練を実際に行っていたらいいようだが、災害時の避難訓練も含めて実施されているのか。
(事務局)	職員だけでなく、ということか。
(委員)	そこまでではない。実際の消防訓練や避難誘導訓練を実施しているのか。
(事務局)	施設では緊急時の対応マニュアルを作成いただいているため、その訓練については実施されている。
(委員)	次年度の企画は出してもらっているが、非常時や老朽化に伴って施設が使用できなくなっていくのではないかと不安を強く感じる。
(事務局)	建設されて約20年経過しているため、老朽化も激しい。12月以降、大ホールと中ホールを休止してエントランスホール防水改修、両ホールの音響設備の更新を行っている。今後も適宜予算要求を行っていく。

<b>【奈良市ならまちセンター】</b>	
意見・質問なし	
<b>【奈良市美術館】</b>	
(委員)	美術館の問題点は、美術館が入っている施設の問題が大きいと思われる。美術館を支えている周りの環境に市としてどこまでどのように関わっておられるのか。
(事務局)	美術館といえば静かなイメージがあったので、第一に音の問題がある。また、以前までの導線が確保できず、遠回りになってしまうこともある。開店前に調整は行っていたが、結果として現状がある。利用者からもこの2点については意見が多い。
(委員)	エレベーターを上がってからかなり遠回りになっている。道順をもっと最初の段階で表示するなど市役割か。
(事務局)	指定管理者にはホームページでの周知など、こちらの想定以上に工夫いただいている。また、美術館の活性化事業として、音を出したアニメーション展示などの工夫もしていただいている。市としては、市美術館としてではなく、市民ギャラリーのような方向性も検討する時期にあると考える。
<b>2. 候補者選定</b>	
一般財団法人奈良市総合財団を、奈良市音声館・なら100年会館・奈良市ならまちセンター・奈良市美術館の指定管理者の候補者として選定した。	